



お父さん、お母さんのための One Point 講座

No.5



『子育てを成功する妻と失敗する妻の分かれ道』

創芸社刊・与那嶺正勝 著 『家系を科学する』より

●夫婦は基本的に平等ですが、責任を一つでも多く持つ人が、その家のリーダーです。女性はどんなに頑張っても、この面では男性を超えることはできません。なぜなら、女性は妻となり子どもを身ごもり、子どもを産むようにできているからです。

十月十日の間、妻は子どもに全責任を持つのですが、夫は最低でも妻と生まれてくる子どもの二人の全生命に全責任を持つというのです。その後も全責任は夫が取るのです。少し頼りがいのない夫であっても、二人に少しでも責任を感じているようなら、夫がリーダーです。人間社会はどのような部署でも一つでも責任を多く持つものがリーダーなのです。

ですから、子どもたちの前でも夫をリーダーとして認めて尊敬してあげて下さい。お父さんを尊敬した子どもたちは、やがて大きくなったらお父さんのようになりたいと言うのです。お父さんが警察官なら警察官に、漁師ならば漁師になると言います。

●子どもたちは将来その分野の責任を持つリーダーになると宣言しているのです。そういう子は将来母親にも責任を持つようになり、母を守り国をも守る人になるのです。

昔の母親はわざわざ教育の時間さえも取らなかったのに立派な子どもを育てることができたのは、教育のポイントをしっかりと押さえていたからです。

逆に教育が下手な妻は、夫をリーダーと認めず、自分で全てを決めて家庭を運営する人です。

(裏面に続く)

子どもたちを塾や様々なお稽古をさせて有名大学さえ卒業させれば、夫よりも立派な子に育つと思っているのです。

残念ながら夫を尊敬し、一步下がってリーダーとすることを知らない母親の育てる子どもは、自己中心的で社会のために責任をとる意欲が乏しい子どもになりがちです。社会に参加する意欲もなく、場合によっては何をしたいのかさえもわからない子に育ってしまいます。

昔から「子は親の後ろ姿を見て育つ」とよくいいますが、母が父を尊敬する後ろ姿が子どもを立派な社会のリーダーに育てるポイントであることを理解して下さい。諺に「悪妻は百年の不作」とありますが、それは夫を立てない妻のことなのです。百年の不作とは、家系的にいえば子孫の三代が吹っ飛んでしまうということです。立派な子どもを育てようと思ったら、このことを理解すべきです。



夫と妻の関係によって、後代の家系に大きな影響を残していきます。母親として妻として、どう夫を立てたかが子孫の教育に左右されるのです。主体あつての相対、相対あつての主体ですので、父親と母親がそれぞれの役割を果たせるよう協力して、神様の願う家庭を築いていきましょう。

<子女教育へ向かう実用的な参考書を紹介します>

光の子園・実践子育てガイドブック

「あなたもできる 祝福子女の育て方」

座間保裕・村上小夜子 共著

光言社刊：1080円（税込）



※祝福子女教育のあり方を心情面、実践面において詳しく説明しています。二世教育に携わる父母の皆さんには必読の書です！

光言社オンラインショップから注文できます。

<https://book.kogensha.jp/ps/shop/>

(世界平和統一家庭連合 岡山家庭教会 子女教育担当資料)